

特定非営利活動法人

# 公益のふるさと創り鶴岡



## ごあいさつ

当団体はNPO法という制度が施行されましたと同時に、鶴岡市にかねてからまちづくり活動の拠点の受け皿がほしいという市民の声もありましてNPOの支援ができる組織、「庄内市民活動センター」を立ち上げました。その経過は紆余曲折を経ながらも、多少の鶴岡地域の課題解決に取り組み、着実に歩みを進めていると自負をしているところでございます。

当初の役割といたしましては、NPOとは何か、またどのような制度なのかといいますこと、市民の皆さんに啓蒙することで行ってまいりました。5年ほど経過いたしましたからは、NPOの活動の取り組みとはどのようなものか実際にお見せしていく事にシフトしてまいりました。私たちはこの取り組みをプロモーション活動と位置づけまして、実験的なイベントや祭りの創出などを行っております。同時に、名称も「公益のふるさと創り鶴岡」へと変更をいたしまして、NPO支援からまちづくりの実践活動を行う団体といたしまして再出発いたしました。この間、いろいろな団体がNPO法人として独立し、活躍していることは誠に喜ばしいことと存じております。

10年目からは、次期世代の人材育成ということでございまして、NPO支援のリーダー育成を行っております。現在はNPOに従事する若者の育成のための各種プログラム、鶴岡地域に定着できるNPO従事者の育成に取り組んでいるところでございます。

未来の鶴岡地域がよりよいまちとして存続できますために、これからもがんばる所存でございますので、今後ともよろしくお願いを申し上げます。



特定非営利活動法人 公益のふるさと創り鶴岡  
代表理事 風間 富士子

## NPO法人公益のふるさと創り鶴岡

### 主な事業内容

#### 地域の芸能・文化継承支援事業

地域に残る伝統文化を継承し、持続させながら新しい文化を創出すること、まちなかのアメニティ空間を創出するソフト事業を開発し、地域に根ざす事業を創出することを目的に活動。

##### 過去の事業

- 「庄内はえや流し踊り」
- 「おいやさ祭り」
- 「鶴岡踊り祭りステージ」
- 「海坂の桜小祭り」
- 「海坂の芭蕉小祭り」
- 「大黒様のお歳夜祭り」
- 「山王新酒まつり」



#### 鶴岡舟番所

##### 和舟を活用したまちづくり

和舟を管理・運営し、歴史的・文化的な資源の発掘と、地域のまちづくりに資する事業展開を図っております。内川流域の良好な環境を保全しながらイベントを開催し、地域の子もたちへの学習の場として、またいろいろな世代の交流の場として地域住民が良好な環境を保全し活用していくことを目指しております。



#### スポーツごみ拾い

「スポーツごみ拾い」は、まちを競技エリアとするスポーツです。制限時間内で拾ったごみの量と質でポイントをチームで競い合う、子どもにも大人にも簡単な競技です。

地域活性化を図り、広く市民に環境の大切さを啓蒙することを目的としています。

また、地域のスポーツ大会などの会場清掃・イベント会場の清掃などでの活用も視野に入れ、多方面での活動展開することを目指しております。



#### イチローチ まち×かわプロジェクト

内川のランドマークとしての旧イチローチ商店の再生を通して、鶴岡市中心市街地の活性化、内川を活用した街づくりをミッションとし、地域とそこに暮らす人とが互いに変化を共有できる、未来へとつながる「場づくり」を行なっています。

##### 過去の事業

- 連続講座「内川学」
- 山王アートキャンパス
- イチローチまち・かわ写真コンテスト
- まちあるき



#### だがしや楽校 だがしや倶楽部

青少年の健全育成と世代間交流のツールとしての「だがしや楽校」を地域に広める活動をしています。

##### 過去の事業

- 環境フェアつるおか
- つるおか子どもまつり
- 酒田どんしゃんまつり
- 月山ダムの集い



#### コミュニティ・ガーデン

##### 市民主体の緑づくり

とほり広場や沿線の花壇を地域団体や近隣住民の手で植栽事業を行っています。市民がグラウンドワーク手法を用いて、活動を継続的に行う仕組みを作り、実践活動をしています。

##### 過去の事業

- とほり広場コミュニティガーデン
- 鶴岡村上線歩道花壇整備事業



#### 支援事業

NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワーク / フューチャーセッション@良質なしがらみやまがたこどもアトリエ

## 沿革

### 事業目的

この法人は、鶴岡市および近郊の NPO や市民活動を進めているグループへの支援や、地域づくりに関わっている団体相互のネットワーク化を推進しながら、市民参加型のまちづくり事業を実践し、NPO や市民活動の活性化を目指すなかで、市民一人一人の自立を推進することを目的とする。併せて、市民の NPO に関する教育・啓発活動にも積極的に取り組んでいく。

- 平成 12 年度 「庄内市民活動サロン」として鶴岡商工会議所の空スペースを借り 4 名で開設。当初は資金も持ち寄りで運営。フリーマーケットやイベントで運営費を捻出。建設省のモデル事業「歩いて暮らせるまちづくり」調査作業委託を受け、資金繰りが安定する。  
事業費 280 万
- 平成 13 年度 フリーマーケットから思いついた花 HANA 宅配便を始める。コミュニティビジネスモデルとして評価される。また、鶴岡エコマネー研究会が発足、地域通貨「もっけ」が鶴岡で流通する。8 月に法人格を取得し「庄内市民活動センター」と改名する。  
事業費 600 万
- 平成 14 年度 日本財団の NPO パワーアップ事業に採択され、グラウンドワーク組織を立ち上げるため雇用資金を受託し、「グラウンドワーク庄内」の設立までの支援を行う。また、中心市街地活性化事業の一環として「つるおか街かど文学館」を設立。「外堀堰再生保存の会」などの設立に尽力する。緊急雇用対策費がつき専従職員が 4 名となる。  
事業費 1200 万
- 平成 15 年度 文化庁の委託事業で「文化ボランティア養成講座」を国指定重要文化財丙申堂で開催。山形県中心市街地活性化事業で、「街中アート・パフォーマンス・アメニティ研究会」を発足。商店街で各種実験事業を展開する。 事業費 850 万
- 平成 16 年度 文部科学省生涯学習まちづくりモデル事業に「街中アート・パフォーマンス・アメニティ研究会」が採択され、東北公益文科大・東北芸術工科大の講師陣と 5 つの事業を展開、アートプロジェクト・だがしや楽校・時代劇映画祭のイベントを展開する。  
事業費 500 万
- 平成 17 年度 庄内市民活動センターを「公益のふるさと創り鶴岡」と改名して組織改編を行う。まちづくり事業に特化してスリム化を図り、今後のまちづくりの先駆的モデルと成り得る事業の支援を展開する。  
事業費 400 万
- 平成 18 年度 街中アート・パフォーマンス・アメニティ研究会がそれぞれ独立した事業展開を行う。また、文化庁委託事業「NPO による歴史的建造物活用モデル事業」に採択され「つるおか語りの世界」イベントを開催。街中パフォーマンス研究会から発足した「おいやさ祭り」は鶴岡の盆の踊り再生の先駆的事业として評価をいただく。  
事業費 500 万円
- 平成 19 年度 文部科学省「生涯学習分野における NPO 支援事業」に採択され「生涯学習まちづくり仕掛け人塾」を企画し、各種まちづくり活動を展開。山形県協働企画提案事業世界遺産登録シンポジウム「出羽三山と最上川が織りなす文化的景観まんだら」を開催。男女共同参画芝居「男と女のおもしろ座学」などを開催。だがしや楽校・災害ボランティアネットワーク・城下町鶴岡旧町名を語る会など支援の輪も広がる。  
事業費 650 万円

- 平成 20 年度 福祉医療機構の長寿子育て障害者基金に採択され「だがしや楽校拠点整備事業」を山形市と鶴岡市で展開。また市民で公共の施設等植栽活動を行う鶴岡コミュニティガーデンを発足、外堀広場の植花活動を行う。  
事業費 700 万円
- 平成 21 年度 山形県中間支援強化機能事業に採択され「庄内地域アドバイザー派遣事業」で 2 名を雇用、また山形県教育庁の「だがしや楽校普及事業」で 2 名を雇用する。長寿社会開発センターの助成事業で高齢者と子どもの交流「だがしや楽校」を展開。鶴岡市と酒田市で拠点型だがしや楽校を行う。その他、庄内地域まちづくり連携セミナーなど開催。また、内川環境整備に取り組む「鶴岡舟番所」、「鶴岡災害ボランティアネットワーク」を発足する。  
事業費 1800 万円
- 平成 22 年度 昨年に引き続き、山形県の委託 NPO アドバイザー事業・だがしや楽校普及事業を受託。新規事業として「美しいやまがたの海・プラットフォーム スポーツごみ拾い大会」を開催。やまがた社会貢献金の助成で「歩いて暮らせるまちづくりの 10 年」とその未来事業で首都大学東京の饗庭・川原准教授を迎え、まちづくりワークショップを開催。その他、地域連携セミナーより発生した「自分探しの庄内路」事業では 200 名以上の参加申し込みがあった。また山王デイバザール支援を行った。  
事業費 2300 万円
- 平成 23 年度 今年で最終年となる、山形県の委託 NPO アドバイザー事業・だがしや楽校普及事業を受託。また、県子育て支援課より「やまがた体験広場」調査作業を受託し県内の子どもたちが体験できる施設等の調査を行い冊子にまとめた。新しい公共支援事業で 2 名を雇用し、行政・企業・NPO・市民が協働でまちづくり活動を支援する基盤づくりを行った。このモデル事業としてイチローチ・まち川再生プロジェクトの支援に当たり、土地建物の取得に向けたプロジェクトをおこなった。  
事業費 2900 万円
- 平成 24 年度 山形県委託事業で新規に 2 名を雇用しやまがたアフタースクールのプログラムの策定および実践事業を受託した。また、公的人材育成事業で 1 名を雇用し、ファンドレイジングに関する研修を受け、NPO の資金調達に通じた人材育成事業を受託した。昨年度に引き続き、新しい公共支援事業で企業の寄付文化を醸成する講座を開催、また若者の育成のためのフューチャーセッションなどを開催し、新しい公共を担う人材を育成した。また、社会貢献基金の助成で「スポーツごみ拾い in 庄内大会」を湯野浜海岸にて開催、話題となった。  
事業費 2400 万円
- 平成 25 年度 山形県委託事業で商店街マネージャ育成事業・地域担い手事業を受託 2 名を雇用し、商店街のイベント等の企画運営・大学生が活躍する場づくりなどを手掛ける。また、中間支援機能強化事業を各地の中核 NPO が担うこととなり、若手まちづくりリーダー育成のための各種ワークショップを行った。拠点を羽黒町の旧西部児童館に設置し、「やまがたこどもアトリエ」などの事業を実施した。  
事業費 1900 万円

～ 鶴岡の新たな祭りの創出 ～

## 地域の芸能・文化継承支援事業

街中パフォーマンス研究会を中心とした「まちの風情にマッチしたパフォーマンスの展開」と、街中アメニティ研究会を中心とした「鶴岡らしい風情のある祭りの展開」。既存の文化を継承しつつ、新しい風を吹き込みながら、歴史ある鶴岡の風物詩づくりの一役を担うことを目指しています。



### 平成16年～ 海坂の小祭りシリーズ

藤沢周平が生み出した江戸時代の架空の藩「海坂藩」。そこには市井の人々の生活、喜びや悲しみの感情を伴った人々の生の姿が描かれています。

日本人の心の花「桜」を介して春の訪れを喜ぶ「海坂の桜小祭り」、鶴岡での松尾芭蕉を想いながらゆかりの地を巡る「海坂の芭蕉小祭り」を通して、季節のうつろいや歴史に触れて頂きたいと考えております。

- 海坂の桜小祭り … 例年4月中旬
- 海坂の芭蕉小祭り … 例年7月中旬

### 平成16年～ 踊り祭りの再生

平成16年 鶴岡の踊り再生を考える「歴史に見る鶴ヶ岡盆の踊りの再生を考えるフォーラム」を開催。翌平成17年「鶴岡踊り祭りフェスティバル」を開催、「新・庄内ハイヤ節」の披露を行なう。これまで夏に「庄内はえや流し踊り」「おいやさ祭り」、冬に「鶴岡踊り祭」を数多く実施。踊り祭りを通して「新・庄内ハイヤ節」の踊りの普及に努めております。



### 平成16年～ 山王日枝神社の祭りの創出

庄内地方では12月9日の夜は「大黒様の御歳夜」といい、ハタハタの田楽と共に豆尽くし食物を神棚に上げ、家内全員がそのおすそ分けに預かる、商売繁盛、子孫繁栄、家内全員がマメで暮らせますようにと大黒様を拝む風習があります。また、江戸時代享保の頃、山王商店街には造り酒屋が17軒もあり、酒屋町と言われた時代がありました。「山王新酒祭り」は酒蔵より山王日枝神社に新酒を奉納していただき、五穀豊穰・商売繁盛を祝う祭りです。祭りを通して古き良き日本人の心に少しでも触れていただきたいという願いから実施しています。

- 大黒様の御歳夜祭り … 例年12月9日
- 山王新酒祭り … 例年1月下旬



～ 和舟を活用したまちづくり ～

## 鶴岡舟番所

内川流域の環境保全および地域活性化を図るため、和舟を管理・運営する「鶴岡舟番所」を設立し、歴史的・文化的な資源の発掘と、地域のまちづくりに資する事業展開を図っております。

内川流域の良好な環境を保全しながら 和舟でのゴミ拾いや『海坂の小祭り』などのイベント開催を通じ、地域の子どもたちへの学習の場として、またいろいろな世代との交流を図る場として、地域住民が川の文化的価値を高め、活用していくことを目指しております。



ゆったり流れる内川と和舟を活用した「親子ふれあい舟下り」



夏休み期間中に企画される「ざっこしめ・生き物さがし」



環境保全のための「藻刈り」



2009年11月 「鶴岡舟番所」設立。  
平成21年度地域子育て創生事業(山形県安心子ども基金特別対策事業に内川探検親子ふれあい事業採択。  
「親子ふれあい舟下り」「内川の自然をかんさつしよう」開催。  
「内川と橋を知ろう」「芭蕉と長山邸跡地を考える」「船頭養成講座」実施。

2010年 平成22年度(財)河川環境管理財団 河川設備基金新設市民団体運営支援助成に採択(平成26年度まで)。  
「親子ふれあい舟下り」のほか、水質調査、生き物さがし、ゴミ拾いを行なう。

2011年 「親子ふれあい舟下り」「水生生物調査」「ゴミ拾い」実施。

2012年 平成24年度(公財)山形県総合社会福祉基金(紅花ふれあい基金)に、子どもたちや障がい者の方たちの川に親しむ活動が採択。「親子ふれあい舟下り」「ざっこしめ・いきものさがし」「ふれあい舟下り(団体向け)」実施。

2013年 「親子向け舟下り・川遊び」、鶴岡市主催の「内川舟下りモニターツアー」実施。

# 鶴岡舟番所

## ～ みんなで街をきれいにする ～

# スポーツごみ拾い

全国各地で開催され、一番環境にやさしいスポーツとして注目されている「スポーツ GOMI 拾い」。これまでの「ごみ拾い」という社会奉仕活動をスポーツ(競技)に発想転換し、ごみのポイ捨てなどに対する市民の意識改革に一役買っているスポーツです。ノウハウを県内でいち早く学び、全国初の海岸での開催を行なうなど活動が続けながら、行政や地域の企業・団体との協働での企画運営をおこなっております。



2010年度 JT 青少年育成に関するNPO助成事業にて鶴岡市湯野浜海水浴場を会場に第1回目を実施。美しいやまがたの海プラットフォーム・スポーツごみ拾い in 庄内大会実行委員会が主催、当団体は主管として、環境フェアつるおか、酒田市宮野浦で計3回の実施を行なう。

2011年度 日本財団の助成を受け、湯野浜海岸での庄内大会、環境フェアつるおか、赤川大会を実施。活動の場所を拡げ、認知度を徐々に上げる。

2012年度 やまがた社会貢献基金の助成を受けての湯野浜海岸で2大会の実施、赤川大会、環境フェアつるおかの実施。また、最上総合支庁からの事業委託を受けての新庄大会を実施の他、遊佐町少年議会からの委託で「ゴミスポ」実施補助を行なう。



2013年度 セブン-イレブン記念財団の助成を受け、環境フェアつるおかの実施の他、新庄大会の企画運営補助、美しい山形・最上川フォーラム主催事業の企画運営補助を行なう。

### 【今後の展望】

いつでもどこでも出来ることから、大学生を中心に広く青少年が主体的に企画運営を行なう仕組みを作り、特に子どもたちとごみ拾いを楽しみながら、環境保全を整えたいと考えております。

また、行政や地域の団体・企業などとの協働で環境保全活動や子ども会の行事、地域のスポーツ大会等の会場清掃、イベント、お祭り会場の清掃など多方面で活動を行なっていこうと考えております。

# スポーツ ごみ拾い



# ～ 市民が主体となってまちづくりに取り組む ～ コミュニティガーデン

コミュニティガーデンとは、市民が主体となって、地域のために場所の選定から造成、維持管理までのすべての過程を自主的な活動によって支えている『緑の空間』を創出する活動をいいます。当団体では、とぼり広場の花壇および県道鶴岡村上線（NTTから荘内病院前 60メートル区間）の植栽活動などを行なっています。

秋の植替え  
チューリップ



ほっとパークの  
枝打ちなども  
行なっています。

## コミュニティガーデン 会員募集!!

一緒にコミュニティガーデンを  
作りませんか？

月 1～2 回活動です。  
随時募集中  
お問い合わせください。

チューリップの花が  
終わると球根を掘り出します。



土入れを行ない、  
土壌を整えます



ビニールシートをかけ、  
均等に植えていきます。

秋の植替えまで  
管理を行ないます。



1 株 1 株手作業で植えて  
いきます。



平成 15 年度 キリン福祉財団  
平成 18 年度 セブンイレブン記念財団/ネピアハートデザインプロジェクト  
平成 20 年度 セブンイレブン記念財団/コメリ緑資金  
平成 22 年度 セブンイレブン記念財団/コメリ緑資金  
平成 25 年度 セブンイレブン記念財団

助成



鶴岡コミュニティ・ガーデン

# ～ だれでも どこでも いつでも ひらける ～ だがしや楽校・だがしや倶楽部

子どもと大人が気張らず交流ができる、それが『だがしや楽校』です。祭りの屋台形式で「趣味・特技・遊び・学び・作品」を展開する集い『だがしや楽校』が社会力を育みます。イベントでの出張開催の他、誰でも簡単にできるプログラムやよろず相談、支援なども行っています。

山形県の中学教師が発案した『だがしや楽校』とは、お祭りの屋台の形式で、だれもが手軽に「趣味・特技・遊び・学び・作品」などを「みせ」る集いです。学校では学びづらいことを学び、学校とは異なるスタイルで学ぶ「もう一つの自由な学びの場」という意味があります。また、遊びからも学ぶので「楽しい学びの場」という意味もあります。



「だがしや楽校」は、学校での「読み・書き・計算」とは別に、実社会での「しつけ・創意・つきあい」を育む集いです。子供たちに「だがしや楽校」で遊んでもらうことで、机の上ではなく、直接人と人がふれあう中で「社会の中で生きること」を体感し、豊かな情操を養うと共に、これからの生き方やまちづくりの視点を学んでもらう事業をおこなうこと目的としています。



遊び心と学び心で真面目に「だがしや楽校」を行っている大人たちが県内・県外から集い、お互いの実践を学び合う場も開催しています。  
お互いの活動を発表し合う情報交換も大事にしております。



住友生命 「未来を築く子育てプロジェクト」  
(主催/未来を築く子育てプロジェクト実行委員会)  
子育て支援活動部門において最高賞である  
厚生労働大臣賞・未来大賞を受賞しました。  
(2011年)

「だがしや楽校」は、“誰でもどこでもいつでも”楽しむことのできるフリーソフトです。予算や人手をかけずに面白い取り組みをしているという評価が定着してきたためでしょうか、生涯学習関係者や公民館関係者から「うちでもやってみたい」という問い合わせが増えていきます。



## ～ こどもたちが生き生き輝く場づくり ～ やまがたこどもアトリエ

地域の中には「生き生きと輝く元気な大人たち」がたくさんいます。魅力的な場所やモノもたくさんあります。

「だがしや楽校（自分の好きなことやできることを活かした世代間交流の場づくり）」や「やまがたアフタースクール（地域の企業や商店と連携した小学生向けの職業体験プログラムの開発・実施）」の実践経験を活かし、そういった人や場所、モノとの出会いは、子どもたちの持つ可能性や職業選択の幅を広げるだけでなく、地域を好きになるきっかけを与えるということを実感。これからも活動を継続したい！という想いが生まれ、2013年、旧羽黒西部児童館を活用し、活動の拠点づくりを行いました。

2014年以降、拠点を移転し、事業を継続。外部へのお出張こどもアトリエも行ないつつ、活動しております。



地域のなかで  
豊かな自然のなかで

時には  
ダイナミックに



こどもたちが主役！  
体験型ワークショップ

畑をつくろう(左上)  
造形ワークショップ  
こどもテントで毛糸玉(右上)  
オーナメントづくり(右下)



お仕事体験  
「アフタースクール」

山伏体験(左上)  
お菓子屋さん体験(左下)  
映画館スタッフ(右下)

子どもたちの持つ可能性を広げ、  
子どもたちと地域や大人をつなぐ



～ 和舟を活用したまちづくり ～

## 鶴岡舟番所

内川流域の環境保全および地域活性化を図るため、和舟を管理・運営する「鶴岡舟番所」を設立し、歴史的・文化的な資源の発掘と、地域のまちづくりに資する事業展開を図っております。

内川流域の良好な環境を保全しながら 和舟でのゴミ拾いや『海坂の小祭り』などのイベント開催を通じ、地域の子どもたちへの学習の場として、またいろいろな世代との交流を図る場として、地域住民が川の文化的価値を高め、活用していくことを目指しております。



ゆったり流れる内川と和舟を活用した  
「親子ふれあい舟下り」



夏休み期間中に企画される  
「ざっこしめ・生き物さがし」



環境保全のための「藻刈り」



2009年11月 「鶴岡舟番所」設立。  
平成21年度地域子育て創生事業(山形県安心子ども基金特別対策事業に内川探検親子ふれあい事業採択。  
「親子ふれあい舟下り」「内川の自然をかんさつしよう」開催。  
「内川と橋を知ろう」「芭蕉と長山邸跡地を考える」「船頭養成講座」実施。

2010年 平成22年度(財)河川環境管理財団 河川設備基金  
新設市民団体運営支援助成に採択(平成26年度まで)。  
「親子ふれあい舟下り」のほか、水質調査、生き物さがし、  
ごみ拾いを行なう。

2011年 「親子ふれあい舟下り」「水生生物調査」「ごみ拾い」実施。

2012年 平成24年度(公財)山形県総合社会福祉基金(紅花ふれあい基金)に、子どもたちや障がい者の方たちの川に親しむ活動が採択。「親子ふれあい舟下り」「ざっこしめ・いきものさがし」「ふれあい舟下り(団体向け)」実施。

2013年 「親子向け舟下り・川遊び」、鶴岡市主催の「内川舟下りモニターツアー」実施。

# 鶴岡舟番所

支援事業

## ～ 未来を創る語り合いの場～ フューチャーセッション@良質なしがらみ

平成 23 年度の新しい公共推進事業で実施した「リーダーのためのチームビルディング」講座の受講者を中心に構成。地域のために自分たちが出来ることを考える「庄内クリエイト MTG2012 ～ Let's go! やってやろーじゃない～」を経て、「鶴岡フューチャーセッション～地域住民による、地域のための対話の場～」を定期的実施。ファシリテーション道場の開催など、実践に使える勉強会の実施なども併せて行っている。



**庄内クリエイトMTG 2012**  
～Let's go! やってやろーじゃない～  
(2012年3月9日(金)～10日(土) @ 湯田川温泉)

**目的**  
庄内に新しい仕事や活動を生み出し、ハツラツとした地域を創りだすこと

日時：平成 24 年 3 月 9 日(金) 13:30 開会  
～ 3 月 10 日(土) 10:00 解散  
場 所：湯田川温泉つかさや旅館  
〒997-0752 鶴岡市湯田川2-52 ☎0235-35-2301

対象者：「リーダーのためのチームビルディング」(2011年12月14日実施)に参加し、その参加費からの献金で 2012 年度実業家育成のための活動の場として、

参加費：無料 (ただし、夜研修 1 夜 2 日 7,500 円/人)




**鶴岡フューチャーセッション vol.1**  
～つるがが：地域住民による、地域のための対話の場～

日時：2012年9月16日(日)  
10:00~16:00 (出入り自由です)  
場 所：まちのコンシェルジュ チヤペ  
鶴岡市山手3-14(ほんのり豊ぽっと1F)  
参加費：完全0円 (ネットラベリング費のみ)  
定 員：20名 (スペースに限りがあるため)  
ファシリテーター：長尾 彰夫 (Eデュワーシニア・フューチャーセンター 代表)

多岐のフューチャーセッション  
① フューチャーセッションとは  
② 庄内地域振興ファシリテーター養成講座  
懇話会とみなさんからの質問・ご提案・ご意見を  
いただきます。  
参加者全員が庄内の未来を語り合おう！  
「どんな未来をつくりたいですか?」

お申し込みは、下記の記事を転載の上、  
e-mail: info@tsuruokaforum.co.jp まで。  
● 対象  
● 所要  
● 費用 (持ち場で結構です)  
● メールアドレス  
● 参加するにあたっての注意

主催：フューチャーセッション協会良質なしがらみ  
鶴岡市山手3丁目 富戸ビル3F 503号  
NPO 法人 公認のふるさと創り鶴岡内 鶴岡 博司

主催：山形県新しい社会構築協議会  
会幹：フューチャーセッション協会良質なしがらみ  
助幹：山王会新聞、鶴岡市民間活動家連絡会



平成 24 年 3 月より、定期的にアイデア出しミーティングを中心に場所を変えながら、庄内クリエイトMTG2012として「庄内に新しい仕事や活動を生み出し、ハツラツとした地域を創りだすこと」を目的に実施。

平成 24 年 9 月より、商店街実践活動事業補助金の助成を受け、場所を商店街に固定し、課題解決の手法や連携について対話形式で学ぶ。また平成 25 年 2 月には「自己啓発」についての映画「Finding Joe ～英雄の法則～」の上映会とWSを実施。



**フューチャーセッション in ソーシャル特区**  
～つるがが：地域住民による、地域のための対話の場～

日時：2013年5月31日(金)  
10:00-16:00 (出入り自由です)  
場 所：ソーシャル特区向田57番地  
鶴岡市利根角三ツ楯向田57(0174西野共済会館)

参加費：¥500  
ファシリテーター：長尾 彰夫 (Eデュワーシニア・フューチャーセンター 代表)

お申し込みは、下記の記事を転載の上、  
e-mail: info@tsuruokaforum.co.jp まで。  
● 対象  
● 所要  
● 費用 (持ち場で結構です、機・機使用)  
● メールアドレス  
● 参加するにあたっての注意

主催：NPO 法人 公認のふるさと創り鶴岡内 鶴岡 博司




それぞれの視座、視野、視点で調整  
**ファシリテーター養成講座**  
鶴岡 第一人者の長尾さんに学ぶ

長尾さん(右端から奥に3人目)からファシリテーターの基本を学ぶ参加者たち

会場でワークショップ、発表、ディスカッションと、各参加者の高いモチベーションが、会場全体を盛り上げていました。長尾さんのファシリテーションは、参加者全員から「楽しかった」という声があふきました。長尾さんのファシリテーションは、参加者全員から「楽しかった」という声があふきました。長尾さんのファシリテーションは、参加者全員から「楽しかった」という声があふきました。

平成 25 年 3 月より 11 月まで、休眠施設の再利用ということで旧羽黒西部児童館(ソーシャル特区向田 57 番地)を活用し、フューチャーセッションを行なうとともに、ファシリテーター養成講座全 7 回の実施。養成講座受講者をワークショップに派遣するなど、活動の幅を広げている。今後も定期的にフューチャーセッションを行ない対話の場を設けるとともに、各種勉強会を実施していく予定。

# 用語解説

私たちが良く使う専門用語を取り上げました。

## NPO

NPOとは Non-Profit Organization の頭文字を取ったもので、営利を目的とするのではなく、公益（社会貢献）を目的とする民間の非営利組織のことです。

非営利組織という観点から見た場合、NPOには、公益法人（社団法人・財団法人）、宗教法人、学校法人、医療法人、社会福祉法人、各種協同組合、労働組合、中間法人などの非営利法人から市民による草の根のボランティアグループまで幅広く含まれますが、一般的には市民が自発的に行なっている非営利の民間組織を指してNPOと言っています。

## 中間支援組織

地域づくりにおいて、企業・行政・NPO法人・NPO・市民 に対して中立な立場で事業のコーディネートを行う 当法人のような立場を「中間支援組織」と位置づけています。

各立場の長所、短所を正しく理解し、「協働」や「アライアンス」、「コンサルティング」を通じ地域活性化・地域経済活性化に有効な中間支援を行うことを事業としています。

中間支援組織には、情報の収集力、発信力、ソーシャルネットワーク、そしてコーディネートするための高い専門性が必要と考え事業を進めています。

## ソーシャルビジネス

私たちの住む地域社会には、環境問題をはじめ少子高齢化や福祉など多種多様な社会課題が顕在化しています。

これらの課題解決をミッションとし、行政に依存するのではなく住民・NPO・NPO法人・企業が協力し独自の事業として取り組む事業を“ソーシャルビジネス”と呼びます。

ソーシャルビジネスの振興により、新たな「起業」や生活が成立する収入を伴う「雇用の創出」などの地域活性化・地域経済活性化が期待されています。

## 社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）

社会的な問題に関して事業を起こして問題解決に取り組み、利益のみを追求するのではなく公益や社会の発展に寄与しようとする起業家のことです。事業型NPO・社会福祉法人・会社・協同組合など事業の形態を問わず、このようなタイプの事業家を社会起業家と呼びます。

## コーディネーター

会議やワークショップなどを行なうに当たって、プロジェクト全体の企画構成、資金調達、開催場所の確保、専門家やスタッフなどの人材確保、参加者募集などプロジェクト運営の責任者、プロデューサーのことです。NPOコーディネーターという風に用いられます。

## ファシリテーター

進者と訳されますが、参加者の雰囲気や心理状態を判断しながら、触媒になって意見や行動を引き出し、会議やプログラムを生き生きと進行させていく役割を担う人のことです。

役員構成 平成26年2月現在

代表理事	風間	富士子
理事	渡部	正芳
理事	佐藤	正一
理事	斎藤	留吉
理事	上野	康成
理事	三浦	新
理事	星野	文紘
理事	今野	毅
理事	國井	美保
常務理事	阿部	等
監事	佐藤	博幸
監事	丸山	俊男

入会の方法

お問合せの上、所定の用紙にご記入いただきます。

正会員 年 10,000 円

活動会員 年 3,000 円

賛助会員 年 3,000 円

特定非営利活動法人

公益のふるさと創り鶴岡

〒997-0028 山形県鶴岡市山王町 9-29

TEL/FAX 0235-25-6320